

らしさってなあに？

① 考えてみよう。これ、どう思う？



A



B

AやBを見て、感じたこと考えたことはありますか。

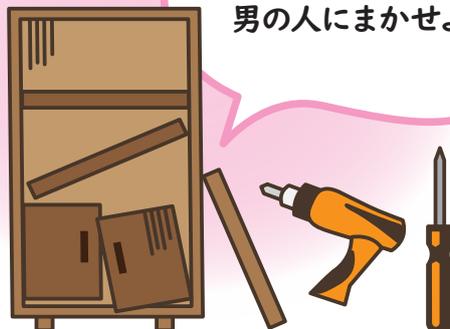
みんなで話し合ってみましょう。

② 家の仕事にも 「男だから」「女だから」ってあるの？

料理は女の人の方が
向いている。
だから、食事やかたづけは
女の人にまかせよう！



修理しゅうは男の人の方が
向いている。
だから、ものの修理は
男の人にまかせよう！



あなたはどう思いますか。

③ 自分の好きなことやとくいなことを生かして家で やっていること、やってみたいことは何かな？



家でやっていること

これからやってみたいこと

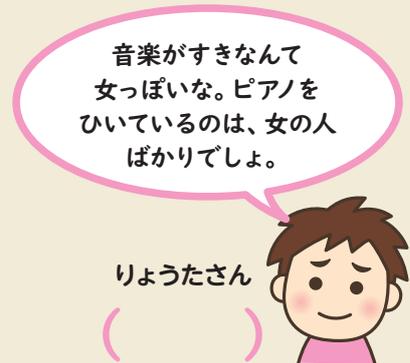
④「自分の好きなこと」を生かすためには…?

下の二人は、「自分の好きなこと」を生かして活やくしている自分を想像しています。



上の二人の話聞いて、下の三人が感想を話しています。

あなたが、さんせいする意見の()に○を付け、その理由を説明しましょう。



あなたの「自分の好きなこと」はどんなことですか?

将来、どんな大人になりたいですか?

男だから女だからではなく、自分の好きなことやできることを生かして生きること、そして、みんなでいっしょに協力する社会を「男女共同参画社会」といいます。

「自分らしさ」を大切に…

(令和2年当時) 運転士

むねむら まきこ
宗村 麻樹子 さん

(現在は渡邊 麻樹子さん)



以前は旅行社に勤めていましたが、友人の勧めもあり、バスの運転士を目指しました。転職を決めてから大型二種免許の取得に挑戦しました。

バスの乗務で最も気を付けていることは、車内事故防止です。ブレーキを踏むときも細心の注意を払います。お客様から「ありがとうございます。」と声をかけられることが一番うれしいです。

現在は、高速バスにも乗務しています。これからも、安全に注意し、お客様に快適なバスの旅を楽しんでいただきたいです。

(令和7年当時) 幼稚園教諭

いしはら たかひこ
石原 尚彦 さん



私は小学校教諭を目指していましたが、幼稚園の教育実習が転機となりました。太鼓がうまく叩けず落ち込んでいた子どもと一緒に、できるようになるまで練習をしました。手を添え励ましてついに成功した時、その子どもは、ぱっと笑顔になり、「先生ありがとうございます!」と言ってくれました。その時の感動が忘れられず、幼稚園教諭として働くことを決めました。「運動が好き」「生き物が好き」「じっくり考える」「友達に優しい」など、子どもはいろいろな個性をもっています。子どもが自分らしさを発揮しながら笑顔で輝いていけるよう、これからも一人一人の個性を理解し、しっかりと受け止めて保育をしていきたいと思っています。

★あなたが「自分らしさ」を出してかつやくできるように、おうちの人からおうえんメッセージを書いてもらいましょう。

保護者の皆様へ

新潟大学 教育実践学研究所 教授 相庭和彦

子どもたちは将来に大きな夢をもって毎日の生活を送っています。自分が将来どのような職業に就きたいかなどは、大人の私たちが想像できないくらい多様性をもっています。小学校3年生の時代はその夢と社会が交差してくるときです。そのときに「男の子である」とか「女の子である」という理由で自分のなりたいことを我慢させることは、夢に向かっていく希望や努力を削いでいくことになります。

特に「らしさ」は子どもの価値観に大きな規制をかけることになります。教師をはじめとする教育関係者は、すべての子どもたちの自己実現をかなえるために、「らしさ」にこだわらない教育を心がけています。男女平等教育はその中心的な実践活動なのです。ぜひ、おうちの方もこのテーマについてお子さんと一緒に考えてみてください。